

答弁書第二号

内閣参質九八第二号

昭和五十八年二月八日

内閣総理大臣 中曾根康弘

参議院議長 徳永正利殿

参議院議員秦豊君提出原子力空母「エンタープライズ」の佐世保寄港に関する質問に対し、別紙
答弁書を送付する。

参議院議員秦豊君提出原子力空母「エンタープライズ」の佐世保寄港に関する質問に

対する答弁書

一から六までについて

政府としては、米空母「エンタープライズ」が、我が国に寄港する可能性があることについては、米国政府から一般的に聞いてはいるが、具体的な寄港日程、寄港地、目的等については、通報を受けていない。

政府としては、同空母が実際に我が国に寄港するような場合に、その段階で日米安保条約及びその関連取極を踏まえ対処する所存である。